

会 議 録

会議の名称	令和5年度第2回スポーツ推進審議会																																			
事務局	生涯学習部生涯学習課																																			
開催日時	令和5年11月16日(火) 18時30分から19時45分まで																																			
開催場所	市民会館・萌え木ホール3階A会議室																																			
出席者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 10%;">会長</td> <td style="width: 30%;">田中 幸夫</td> <td style="width: 10%;">委員</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>本橋 玲子</td> <td>委員</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>山田 裕己</td> <td>委員</td> <td>服部 啓次郎</td> <td>委員</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>檀原 延和</td> <td>委員</td> <td>野川 春夫</td> <td>委員</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>長谷川 貴広</td> <td>委員</td> <td>多田 啓子</td> <td>委員</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	会長	田中 幸夫	委員					副会長	本橋 玲子	委員					委員	山田 裕己	委員	服部 啓次郎	委員				檀原 延和	委員	野川 春夫	委員				長谷川 貴広	委員	多田 啓子	委員		
会長	田中 幸夫	委員																																		
副会長	本橋 玲子	委員																																		
委員	山田 裕己	委員	服部 啓次郎	委員																																
	檀原 延和	委員	野川 春夫	委員																																
	長谷川 貴広	委員	多田 啓子	委員																																
欠席者	—																																			
事務局	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">生涯学習課部長</td> <td style="width: 50%;">梅原 啓太郎</td> </tr> <tr> <td>生涯学習課長</td> <td>三浦 真</td> </tr> <tr> <td>スポーツ振興係係長</td> <td>越 元宏</td> </tr> <tr> <td>スポーツ振興係主任</td> <td>津田 理恵</td> </tr> <tr> <td>スポーツ振興係主事</td> <td>西村 謙太郎</td> </tr> </table>	生涯学習課部長	梅原 啓太郎	生涯学習課長	三浦 真	スポーツ振興係係長	越 元宏	スポーツ振興係主任	津田 理恵	スポーツ振興係主事	西村 謙太郎																									
生涯学習課部長	梅原 啓太郎																																			
生涯学習課長	三浦 真																																			
スポーツ振興係係長	越 元宏																																			
スポーツ振興係主任	津田 理恵																																			
スポーツ振興係主事	西村 謙太郎																																			
傍聴の可否	可 一部不可 不可																																			
傍聴者数	0																																			
傍聴不可等の理由等	-																																			
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 この間の経過について 2 第2次小金井市スポーツ推進計画の進捗確認について 3 令和5年度スポーツ推進審議会スケジュールについて 4 その他 																																			
発言内容・発言者名	別紙審議結果のとおり																																			
提出資料	別紙のとおり																																			

ましては、本日御就任をいただきましたので、後ほど御挨拶を頂戴できればと思います。

また、無作為抽出ということで、事務局のほうで市民の方30人に一斉にお手紙をお出しして、この委員会について御参加いただけませんかということでやってみたところなんですが、残念ながら応募はなかったというところでございました。引き続き、現在の委員の任期の皆さんは残り2回ということになりますので、こちら無作為抽出の枠の公募市民の方は欠員のままにしたいというふうを考えているところでございます。

最後に、皆様の任期でございますが、第1期の小金井市スポーツ推進審議会の委員の皆様は、一昨年から御就任をいただいております。今度の2月、来年の2月で1回任期終了となります。現在、第2期の委員として新たな募集を開始してございまして、論文は11月末まで受け付けているところでございます。この間、無作為抽出や団体枠の推薦等も進めてまいりますので、御承知おきをいただければと思います。

では会長、一言ずつ御挨拶をいただければと存じます。お願いいたします。

田中会長 ありがとうございます。

それでは、今回新たに就任していただいた委員のお二人の方から、一言ずついただければと思いますけれども、まずは山田委員、一言お願いします。

山田委員 公益財団法人小金井市体育協会の理事をしております。また、NPO法人の小金井市弓道連盟の代表理事及び会長をやっております山田と申します。

体育協会から中川が出ておりましたが、今回退任をいたしましたので、その交代ということで私が出席させていただくことになりました。よろしくお願いいたします。

田中会長 お願いします。

三浦課長 よろしく申し上げます。

田中会長 続きまして、多田委員のほうから一言お願いいたします。

多田委員 皆様初めまして、多田啓子と申します。

ふだんはスポーツジムでフィットネスインストラクターをやって、大きなところの教室とかで有酸素運動とかエアロビクスとかやっております、今日の午前中も市民団体を今、立ち上げたので、月1でエアロビクスの教室を無料で、リズム体操という名前でやっているんですけども、大体年齢層が40代から、今日は90代の方もいらっしゃっております、一度、南小のほうにもUDダンスのほうでお邪魔させていただきました。障がい者の方にも運動をもっとやっていただきたいなって思って、そのUDダンスというのが聴覚障がい者の方向けのダンスだったりとかするので、それからダウン症とかの子にも今、西東京のほうでダンスを教えていたり、体操教室を持っていたりします。どうぞよろしく申し上げます。

三浦課長 よろしく申し上げます。

田中会長 ありがとうございます。お二方、今期の会議はもう少ないんですけども、どうかよろしく申し上げます。

田中会長 続きまして、(2)第2次小金井市スポーツ推進計画の進捗確認についてということで、本日のメインイベントになりますけれども、このことについて事務局のほうから説明をお願いいたします。

津田主任 資料1の第2次スポーツ推進計画進捗調査という資料を御覧ください。昨年、皆様に御審議いただいた第2次小金井市スポーツ推進計画の計画年度が、令和5年度からとなっております。来年度以降、進捗状況や達成度を確認していくこととなりますが、その方法について御審議いただきたいと思います。

まず、資料を基に事務局案を説明し、それを受けた委員の皆様の御意見をまとめていただきます。その御意見を踏まえ、修正があれば修正したものを2月、次回の会議で示し、そこで確定したいと考えております。令和6年度になったら、2月の会議で確定した方法

で令和5年度の実績を確認していくことになります。

では、本日お持ちいただいた計画の概要版のほうと、資料1をご覧ください。資料1が事務局の案として、進捗確認のシートを作成したものです。基本方針ごとに1ページずつに分かれており、一番上に基本方針が書いてあって、その下に対応する評価指標が載っています。

1枚目の基本方針1でいえば、「誰もが親しめる運動・スポーツ活動の推進」とあります。「誰もが親しめる運動・スポーツ活動の推進」を端的にはかる評価指標が、「週1回以上運動・スポーツを実施している市民の割合」です。

資料1、「週1回以上運動・スポーツを実施している市民の割合」の右側にある令和4年度実績というのが計画に載っている現状値、その右側の令和5年度実績が空欄になっていますが、調査のときにここに数字を入れるものとなります。

その右側の令和7年度目標値、そのさらに右の令和12年度目標値が計画に載っている数値です。概要版でいうと、一番左端に載っているものです。

資料1の下の表の部分に移りまして、網かけの一番左の基本施策に計画と同じタイトルが書いてあります。一番上だと、「子どもの運動・スポーツ活動の推進」となっています。その右側の主な取組の参加人数等というのが、計画の中では主な取組欄に参考事例として載せている具体的な取組を掲載しております。さらにその右側の令和4年度実績というところ、こちらは私のほうで昨年度の数値を入れております。その右に令和5年度実績があるのですが、これを調査したときに今年度の実績値を入力していくことになります。

実績値の数字が2列になっていますが、左側の細かく分かれているほうが個別の取組の実績、右側にその細かく分かれた数字の合計数が入ります。

1-1だと、土曜スポーツクラブのすぐ右側の381というのが土曜スポーツクラブの年間参加者数、次、野川駅伝大会でいうと376というのが野川駅伝大会に参加した小中学生の人数になっています。その右側の757人というのは合計数となります。

令和5年度実績のところであれば、その合計値を踏まえて右側のボックス、令和5年度評価にAからEのアルファベットを入れます。このアルファベットの凡例が、表の上にある小さい文字のところに

ありまして、Aとした場合は前年度の5%増、Bは前年度同様、Cは95%以下、なのでBはAとCの間ぐらいの数字を入れるということになります。Dは未実施・中止、Eは終了、DとEの違いは、Dはその事業をやめる予定ではないが、やむを得ず感染症などで未実施となった、Eはその事業は今後実施しないと判断したということによって終了というふうになります。

評価の右隣のところは事業実績・評価理由の記述欄となります。こちらが調査方法の説明になりまして、併せてこちら資料2の令和4年度事務報告書抜粋も見ていきます。この事務報告書というのは、以前、皆様に御覧いただいたことがあります。市役所で毎年作成しているもので、1年間に実施した様々な事務事業の結果や成果をまとめている資料です。進捗調査の実績値については、なるべく事務報告書から抽出します。

こちらの資料2が、10ページまでは生涯学習課スポーツ振興系の全事業が載っておりまして、それ以降は今回の進捗調査に載っている他の課の事業のページを抜粋したものになります。

では、資料1の個別の項目を説明してまいります。1ページ目の基本方針1というのが、1から4までが子ども、働き盛り世代等、世代や属性で対象者を分けているもので、1-5は「競技能力・指導能力向上への支援」という区分けになっております。

1-1の子どもの区分の比較は、ただいま申し上げたとおり、土曜スポーツクラブと野川駅伝大会となっておりますが、こちらが資料2の事務報告書でいうと、8ページ、端にaと書いてあるところから抽出します。

資料1の土曜スポーツクラブの左側にaと書いてあるんですが、それと事務報告書の手書きの文字が対応しているものです。野川駅伝大会だと、5ページの上のほうにあるbの数字になります。ただ、事務報告書には大人の参加者も含めた数字が入っているので、調査では小中学生の人数に絞ることになります。

続いて1-2、働き盛り・子育て世代のところだと、ジュニアサッカーフェスティバル、親子健康教室、スポーツ個人開放校、3つの合計から評価していきます。ジュニアサッカーフェスティバルは、先ほどと同じ5ページの下のほうにcと書いてある箇所、こちらも大人、子ども両方含めた人数となっているので、大人のみの数字を出していきます。その下の親子健康教室は13ページのdという箇

所で、同じように大人のみの数字を出します。その下のスポーツ個人開放校は6ページ全体に載っているんですが、現在の受付では大人か子どもかの別を書いていないので、もしこれでいくとしたら次年度から年齢、何十歳台とかいう記入欄を設けることを考えております。そのため次年度は、令和4年度、令和5年度の実績値は分からないこととなります。なので、資料1の令和4年度実績のところ参考値という記載を入れました。

続いて1-3、高齢者のところです。小金井さくら体操の自主グループ活動とシニアスポーツフェスティバルになります。小金井さくら体操は、事務報告書でいうと11ページの下の方の数字と、おめくりいただいて12ページの上の方の数字を合わせた数字になります。続いて、シニアスポーツフェスティバルは、4ページのgの数字が入ってきます。

続いて1-4、「障がい者の運動・スポーツ活動の推進」に移ります。一番上、ボッチャ教室・ボッチャ大会が事務報告書でいうと8ページのhです。その下の障がい者（児）水泳教室は5ページのiで、令和4年度は中止になっています。その下のニュースポーツ出前教室は事務報告書にはない数字なので対応していません。こちらのボッチャ教室・ボッチャ大会とニュースポーツ出前教室は、障がい者の方も含め健常者の方も参加しており、パラスポーツの普及という観点から健常者の方も含めた数字で書いております。

続いて1-5、「競技能力・指導力向上への支援」です。少年少女野球教室が5ページのkです。その下の走り方教室は、同じ5ページのl、一番下の欄です。その下の学芸大クラブサッカー教室、こちらは事務報告書には記載はありませんが、市で申込受付をしているのでその数字を入れます。

資料1の2枚目に移ります。基本方針2「運動・スポーツを通じた健康づくり」です。

まず2-1、「健康の維持・増進活動支援」、ポールウォーキング教室が、資料2の事務報告書でいうと、先ほどの水泳教室と同じ5ページのnというところです。その下の健康教室は13ページの真ん中の表のoです。その下、こがねい国保健康チャレンジは、次の14ページのpです。その下、体力測定が事務報告書にはないものですが、スポーツ推進委員さんが集計し市に渡していただいている数字を入れています。

続いて2-2、「運動・スポーツに興味・関心を持つ機会の充実と情報発信の強化」、ここでは情報発信の強化として市役所生涯学習課のX（旧Twitter）フォロワー者数と、気軽に参加できるイベントとしてスポーツフェスティバルの参加者数を入れます。こちらXのフォロワー数も事務報告書にはないのですが、毎年時期を決めて確認する数字を入れていきます。スポーツフェスティバルは5ページの上のほう、sにあります。

続いて資料1、最後のページ3ページ目に移ります。基本方針3、「運動・スポーツ環境の充実」です。

3-1、「安全で快適に運動・スポーツができる場の充実」で、民間施設の利用者数を確認します。事務報告書では8ページのtです。

続いて3-2、「運動・スポーツを支える体制の充実」では、FC東京との連携事業件数を入れます。事務報告書にはないので、新たに数えることになります。具体的には、市民の方を試合に無料招待する「小金井の日」やジュニアサッカーフェスティバルなどです。

資料1の内容の説明は以上です。調査の流れとしては、市役所で前年度の実績が出るのが夏頃なので、その頃にスポーツ振興係以外の部署も含め、資料1の現在空欄になっている箇所を埋める作業をした後、この審議会の皆様に御確認いただく流れで考えております。

田中会長 それでは皆様のほうから御意見、御質問等がありましたら、挙手をして、お名前を言ってから発言をお願いしたいと思います。

山田委員 まず、資料1の1ページ目ですけれども、令和4年度実績ということで63.2%という、これは週1回以上運動・スポーツを実施している市民の割合ということでやられていると思うんですが、これは分母が何で、分子が何になるんでしょうか。それと、あと、御説明いただいたそれぞれの実績の人数がこの下に表になっていますが、これが63.2%とかそういうものと、どのように比較するのかというのが分からないんですが、そこまで教えていただきたいと思います。

津田主任 計画をつくる前に市民の皆様にアンケートを取ったものが、計画の第2章の中にあります。計画の中の23ページ、運動・スポーツ

の実施状況という調査がありまして、63.2%は、この数値から抽出しております。また、資料1の1-1から1-5が「週一回以上運動・スポーツを実施している市民の割合」を上げるための全ての要因とはなりません、一部を担っているというもので、ここに書いております。

山田委員 そうしますと、令和5年度の実績というのは、また新たにアンケートを取るとのことですか。

津田主任 はい。この計画に掲載している調査はスポーツ振興係が、計画策定のために実施しましたが、今後は企画政策課で実施している調査の数値を入れていくことになっています。

山田委員 2ページ、3ページ目についても同じようなことになりますか。アンケートから実績というものが計算されて、また5年度、また令和7年度、そのたびにアンケートを取って、その数字を記入していくということ。

津田主任 2ページ目（自身は健康であり、日常生活に支障はないと感じる市民の割合）もアンケートの結果です。3ページ目は市のスポーツ施設の利用者数なので、先ほどの資料2の事務報告書のページから計算した人数を入れていきます。

田中会長 この書き方だと、要するに評価の指標のところのパーセンテージと、下の各基本施策の人数とかと何かリンクして見えるじゃないですか。この数字をもって、上の何か割合を出すみたいになっていて、実はこれ違うものですよ。違うというか、要するに週1回やっている人をアンケートとかで、やっていますかというふうに聞いた答えがここに実績として出てきている。基本計画のこの基本的な1から例えば5まであって、これの推移を下のほうの実績値で評価していくということですよ。山田さんのおっしゃったように、確かにこの数字と、上とどういう関係になるのかなという、基本施策の1から5まであって、これが令和4年度のときはこうなっていました。実際に土曜スポーツクラブはこういうふうに人数が増えましたとかということで、子どもの運動・スポーツ活動の推進というのは、

Aだったのか、Bだったのか、Cだったのかというのはこの評価と言うけど、週1回やっている人とはちょっと別個ですね。

ですから、書き方を工夫して、何かこの週1回のスポーツ活動をしている市民の割合というのが、下から何か計算されるみたいになったんで、あれ、元の分母は何だろうとか思っちゃって、このやった人だけで、市民が週1回やっているかどうかは分からないよね。だってこれは単発的なものとかイベントものですよ。だから、基本施策の評価というのが下の表で、週1回、この大きい基本方針の評価はアンケート等で実施する。そうしないと、取れないですよ。2にも同じことが言えるんですか。市民の割合。

津田主任 基本方針1と基本方針2はともにアンケートを実施しなければ取得できない指標です。

田中会長 3はいいですよ。3は利用者全部の合計をつけるので。ということだそうです。

服部委員 山田委員の質問で、最初、分母は何かということをお聞きになっていたんですけども、私もこれちょっと今さらなんですが、分母はアンケートに回答した人数ですよ。

津田主任 そうです。

服部委員 そうすると、これはたしか2,000名ぐらいにアンケートを出して、返ってきたのが482件ですから、分母は482だということになっていますので、思ったよりも分母は小さいですよ。

だから、市民の割合というふうに言ってしまうと、全市民に聞いて週1回以上やっているという、何かそういうイメージになってしまうんですけども。そもそも、アンケートに答えようという人は、かなり運動をやっている人が多いんじゃないかと思いますので、その辺ちょっと誤解を招かないような表現にしたほうがいいのかなというふうに思いました。

長谷川委員 この整理の仕方がちょっと私もよく分からなくなっちゃったん

ですけれども、そもそも、例えば資料1の1枚目でいくと、1-1の「子どもの運動・スポーツ活動の推進」に、主な取組として土曜スポーツクラブと野川駅伝大会が割り当たっているのは、このひもづけは誰が決めたんですか。この中で決めたんですって。

津田主任 計画の中に事例として載っているものを抜き出しています。

長谷川委員 抜き出して、この1-1に対しては、この2つ、1-2に対しては、この3つというふうに割り当てたのは誰が決めたのでしょうか。

津田主任 事務局です。

長谷川委員 これらの活動に対して、例えば野川駅伝の参加者を増やすという目標でやるんですって。そもそもこの活動自体は。私はあまりそういう認識でなくて、これらのそれぞれの活動が増える、増えないところというのは何かいろいろな要因があると思うので、スポーツを推進することによって、これらの実績が必ずしも増えるということにつながるかどうか分からないし、果たしてそれが本当にいいことかどうかというのちょっと検証が必要かなというふうに思うのと、あとやっぱり、基本施策に対して主な取組というのは、こちら側に書いてあることが取組だと思っていたんです。

例えば、「子どもの運動・スポーツ活動の推進」で言っているのは、「誰もが親しめる運動・スポーツプログラムの実施」と「中学校運動部活動の地域移行への対応」ですよね。これがこの中で決めた話であって、野川駅伝大会は、じゃあ、子どもの運動なんですかというと、大人もやっているじゃないですか。だから、何かこの割当てもぴんとこなくて。だから、この基本施策に対してこの主な取組の組合せというのが、何か、何でこうなっちゃったんだろうなというところ。

逆に、例えば仮に野川駅伝で参加人数を増やすのであれば、増やすために何をやるんですかというのが取組だと思えますよ。だけど、活動というか事業がこう並べてあって、これだと促進するために何をやるかというそのアクションが見えないという。なので、ちょっと整理の仕方が少し分からなくなっちゃったなというところなんです。

ジュニアサッカーフェスティバルも、働き盛り・子育て世代の運動・スポーツ活動の推進に割り当てられているんですけども、これはサッカー協会のほうでやっていますが、こういう基本施策の下にやっているという認識はあまり持っていないくて、だから、ジュニアサッカーフェスティバルの人数を増やすために、じゃあ何をやるかということとかも、全然こう、話し合われていない中で、そこが実際どう、何をやったら増えていくんだらうということにもっとこう、力を入れたほうがいいのかなど思っていたんですけども。

すいません、ちょっと何かいっぱい意見しちゃいましたけれども、まとめ方とこれから取り組んでいくことが少し分からなくなってしまったなというところなんです。どうしたらいいでしょう。

三浦課長

御意見ありがとうございます。

まず、委員長のほうからおっしゃっていただいた基本方針のところと、評価指標と実際の評価する内容が分かりにくいというところは、見え方の問題があるかと思いますので、1回こちらについては工夫をさせていただきたいなと思います。下の事業にひもづいて上のパーセンテージが決まってくるというものではないというのは、そのとおりだと思いますので、ちょっとここは考えなくてはいけないなと思ってございます。

2点目、この表の中の評価項目なんですけど、まさに長谷川委員がおっしゃるとおりでございます、どの部分をフォーカスしていくのかということ、この審議会の中で御議論をいただきたいと思いますが、私ども事務局案を作るときに、あくまでも評価なので、定量的にはかかれるものを指標にしたほうがいいんじゃないかということ、考え方をもとめて、今、御提案を申し上げているところです。

ですので、例えば土曜スポーツクラブ、野川駅伝大会の参加者を増やすための取組は何だったのかというふうに評価設定をしてしまうと定性的になってしまうので、結構日本語の勝負になってしまう部分が多分にあります。なので、私どもとすると、あくまでも数字が取れるものというところで、前半の御説明したとおり、ほかでも使っている数字を当てはめていって、事業そのものの評価はしていきたいなというふうに考えて御提案をしたところでございま

す。

ただ、この審議会の中で別の意見がございまして、こういう形で評価をしたほうが良いということであれば、今回もしくは次回あたりぐらいで御議論いただいてというふうには考えてございます。

なので、もう1回ごめんなさい。長谷川委員のおっしゃるとおり、「誰もが親しめる運動・スポーツプログラムの実施」というのが土曜スポーツクラブなのか、ぱちっと当たっているのかというところで言われると、事務局のほうとすると、主な事業から拾ってきた定量的な評価をしたいというふうに考えて、量的にはかれるものは土曜スポーツクラブかなというところで御提案をしたというのが本音というか、考え方の一端でございます。

長谷川委員 ありがとうございます。

三浦課長 ということで、御議論いただいて構いませんというか、よろしくお願ひします。

長谷川委員 何か結局、今、小金井でやっている事業が並んだだけだなというふうに見えたというのも正直なところで、この推進計画を皆さんと議論してきた中で、もちろん、何か新しい事業なんかも場合によってはやるんじゃないかなという期待もありましたし、あとはやっぱり、結局スポーツを推進するために、2ページ目にありますフォロワー数とか、やっぱり情報の発信の仕方が課題という話もずっと出てきたと思うんです。フォロワー数って、多分黙っていても増えなくて、何かをアクションすることによって増えていくと思うので、増やすために何をやるかという、その具体的な活動をもう少し何か、この推進計画の中で議論していくのかなというふうに勝手に思っていたところと、じゃあ、評価指標ってどうするかという意味でいえば、例えば、これは私のアイデアですけども、フォロワー数を増やすためにやるアクションというのをこの中で議論して、アクション1、アクション2、アクション3で、それが、やった、やれない、マル・バツでやった項目が幾つというのも一つの評価の仕方なのかなと思うんですけども。何%の活動を実施できました、そこから今度、じゃあ何でやれなかったのかという課題も見えてくると思うので、それが費用の問題なのか人の問題なのかというところ

で次につながるのかなと思いましたがけれども。

三浦課長 おっしゃるとおりで、この評価指標の表の一番上、小さくA、B、C、D、Eということで、何%実施、何%実施というような評価もしていきたいなどは考えていたところでもあります。

ただ、おっしゃるとおり、主な取組の参加人数等という、その評価の指標のところがいまいちフィットしないという御意見ですよね。

長谷川委員 はい。

三浦課長 この部分については、私どもとすると、定量的にやれる、はかれるものを評価指標にしたほうがいいんじゃないかなというふうには考えますが、委員会の中で御議論いただいて結構だと思います。

田中会長 そのほか皆さんのほうから御意見ないですか。
この概要版の中の主な取組というものがありますよね。

三浦課長 はい。

田中会長 これ自体は非常にまだやってもいないし、これからやろうとしていることが書かれてあって、このことについて、こっちの最初の資料1のほうは具体的な今までやってきたこの実績と、これから、今年度こうなっているか、来年度どうなっているかという、これもこれで評価していただいて、さらに、ちょっと長くなるかもしれないけれども、例えば基本方針の1について、1-1から1-5までで主な取組がこう書いてあって、これに対して数値が入らなくても、例えば「誰もが親しめる運動・スポーツプログラムの実施」とあったときに、1-1は土曜スポーツクラブとか野川駅伝とか書いてあるんだけど、新しいスポーツプログラムはこういうことを実施したとか、今年度は何もできなかったとか、中学校運動部活動の地域移行への対応ということで、こういう協議会ができたとか、少し進んだとか、これに基づいたものを入れていくと、よりいいんじゃないですか。それが数値でなくても、こっちが数値で、こっちはこのプログラムをやった。そのプログラムに対して次年度はどういう

ふうになったかとか、プログラム数が増えていったとか、そういうふうになると、よりいい評価になっていくんじゃないかなと思います。それが1の、「誰もが親しめる運動・スポーツの推進」というのと、2の「運動・スポーツを通じた健康づくり」というのも、2-1のイベント教室の開催が新しくできたのかできなかったのかとか、入っても入らなくていいんだけど、この評価軸もやっぱり作っておいて、ここに入れ込んでいくといいんじゃないかなと思いますけれども。

三浦課長

先生、ありがとうございます。

私どものほうも、新たな取組等々を実施した場合には、この表の右側のほうの事業実績・評価理由というところに書き込んでいこうと考えてございました。先生がおっしゃられたとおり、人数も評価の一つの項目、だから、この評価理由のところも一つの項目というのを参酌して、左側の令和5年度評価というのをA、B、C、D、Eの中から皆さんで落とし込んでつけていくという作業をしているのがいいのかなと思ってございます。

申し上げていることが伝わっておりますでしょうか。

田中会長

やっぱり表だけだとちょっと片手落ちというか、せつかくあるので、取組のことについても評価して、そして全体の、この表を見ると、例えば基本方針1の全体の評価というのはいないんです。この上の数値だけでいくのかどうか知らないけれども。だから、基本方針1についてこうなんだと全体のまとめをして、2についてまとめをして、3についてまとめをして、総括として、令和5年度はどうだったというのがよろしいかと思うんですけれども。ちょっと大変な作業になるかどうかは別としても、せつかくここまでできているので、できるんじゃないかなという気がしますけれども。

三浦課長

今日の段階では、皆さんも初見というか、いろいろ御意見があるうかと思います。例えば、今議論させていただきました主な取組の参加人数とか計れるもので、もし皆さんのほうから御提案があるのであれば、ここに入れていくのも一考かと思えますし、表全体を少しレイアウトを変えるというのも一つかなと思ってございますので、委員長、どうしましょうか、1回皆様、御検討のために今日は

この程度にさせていただいても結構ですけれども、議論しても結構ですが、初めてというところもあって、なかなか御意見賜るのも難しいかなというのはちょっと思っています。もっとフランクに言ってしまって結構でございます。

田中会長 今出た意見を踏まえて、まず、分かりやすくこの評価表を作り直すというのと、長谷川委員のほうから出たように、取組に対する評価も何かできるようなものを入れ込んで、もう1回皆さんに提示していただければよろしいかなと思います。協力はしますので。

三浦課長 ぜひ。

田中会長 ちょっとこれだと、せっかくいろいろ皆さんが言ったものが表面に出てこないというか。

三浦課長 ちょっとレイアウト等は工夫をさせていただきますので、今日に限らず、御自宅にお持ち帰りいただいて、思いついたこと等があれば、事務局のほうに個別にお電話をいただければ御対応させていただきますと思います。次回の委員会の中で、ブラッシュアップしたものをまた御提案させていただければと今は考えてございます。
以上でございます。

田中会長 その場に出てきても大変だと思うので、できればちょっと前に出てこないと、渡されて、えっとなっちゃうから、もうちょっと事前に資料があると、ここはこうしたほうが良いという質問も早くできるんじゃないかと思います。大変忙しいと思いますけれども、よろしくをお願いします。

三浦課長 この評価の指標も、今、A4判を使っていますけれども、実際はA3判に大きくしてしまうというのも一つありだと思うんです。ただ、評価の項目が多くなっちゃうと、ちょっと事務局もつらいんですが、書けるスペースをもう少し広げるところは、ありかと思えます。そんなに項目も多くないのでは思うんですけれども、何か御意見があれば、今でも結構ですし、後ほどでも結構です。

長谷川委員

この事業実績として、たくさん並べればそれだけ頑張ったんだなというふうに、その結果としてパーセンテージが上がっていけば、うれしい結果だと思いますしということだと思うんですけども、私も、この主な取組に対して具体的に何ができるかというところが一番興味のポイントです。

例えばですけども、「安全で快適に運動・スポーツができる場の充実」というのは、私も市民としてすごく強く願っているところですが、学校施設、民間施設の市民開放とかというのは、やっぱりすごくとても願うところで。一部できているところもあるけれども、もうちょっとこうなるといいなと。その、もうちょっとこうなるといいなのところで、例えば、前回サッカー協会から、三鷹市だとこんなふうに使っていますという比較を持ってきましたと。三鷹市との比較をやりましたも一つのアクションだと思えます。やった活動実績ですし、そのアクションの比較を基に、例えばウェブサイトができて、ようやく施設が充実しましたもアクションだと思えますけれども、それがどれだけ並んだことで、このスポーツ推進計画に基づいて市が頑張っていますということにもなると思いますし、結果的に、何かこういう数字のところにつながればいいのかもしれないんですけども。

その具体的なアクションというのは、誰がどうやって決めていく形になりますか。この主な取組に対して、安全な施設利用の推進のために何をやりますかという、そのアクションのところは。

三浦課長

おっしゃるとおり、例えば今、3-1の指標のところでは例に挙げて御発言をいただきましたけれども、主な取組は3つあって、3つともプラスに向かうかどうかというのは限らないと思えます。プラスに向かうもの、マイナスに向かってしまったものが両方あったけれども、委員会の中としては、今年度の評価として、A、B、C、D、Eのどれかだよというふうには最終的には御判断をいただきたいと思えます。

現実的には、事業実績もしくは評価理由のところは、また私どものほうで、こういうものでこういう理由でというところは1回お示しをさせていただいた後に、皆さんでまた御議論をいただいて、こういうのも考えてみたかという御議論をいただければ、持って帰ってということにはなると思えます。

それから、真っ白で今出しているの、ちょっと分かりにくいかと思うんですが、実際はここの中に事務局案として、こういう取組をやりました、こういう取組をやりましたというのは記入させていただいて、また御提案を申し上げるという形になろうかと思えます。

長谷川委員 分かりました。せっかくこういうメンバーで集まっているところなので、具体的にこんなものはできませんかという希望も出せればと思いますし、現実的なところはやっぱり、人、物、お金がかかることだと思いますので、御意見いただきながら現実的なところを探っていき、箇条書きにしていければいいのかなと思っています。

三浦課長 よろしくお願ひします。

長谷川委員 ありがとうございます。

檀原委員 評価の数値的な基準を出すために、本当に御苦勞されているんだなというのがとてもよく分かりました。

先ほど長谷川委員からもありましたが、情報発信の仕方であるとか、スポーツテストの環境を整えるというのが結構出たと思うんです。かなりお金の面が関わるので難しいのは重々分かるんですけども、本当に施設が老朽化して使いにくい施設になっているところがいっぱいあると思うんです。

この3枚目の「運動・スポーツ環境の充実」というところで、テクノスカレッジのところとFC東京の連携のことで数値が出ていますが、ここはちょっと評価項目が少ないと思うので、例えば、要望が出ていたこの施設について、こういう改善をしたとかということも載せていってもいいのかなとちょっと思ったんです。実績として載せられやすいと思いますので。そういった要望をしっかりとこう、市民から出たものとか、私は今、学校現場なので、学校現場のことは結構いろいろあるんですけども、そういったものもこういった改善を図り、スポーツのしやすい環境にしたというのも実績に挙げられるかなと思いました。

以上です。

三浦課長 ありがとうございます。

それから、施設のなとこで何かできた取組があればというところ
でございましたので、改善できたとか、あるいは直したとか、そ
ういうことがあれば、日本語の中で書いていくような形で取り組み
たいと思います。

では、テキストというかメールベースで皆さんのところへ送付さ
せていただいてもよろしいですか。赤字というか、修正いただく
という形でお願いできれば大変助かります。全部が全部はなかなか反
映できないかもしれませんが、やらせていただきますので。

野川委員

先ほどから出ています基本施策に対しての主な取組というのが
ばっと書いてあるんですけども、基本的に、前回の基本計画の
ときに挙げられたものは本来全部出しておいて、それでどうなったの
かというのが出てこないとおかしいのではないかなという感じが
する点が1点なんです。

それで、特にPDCAサイクル的な言い方からすると、今までや
ってきたんですけども、ここでどういうふうになったから次どうし
ようという、長谷川委員の言い方になると思うんですが、その次の
施策の具体的な話につながらないだろうと。それで、特定のものし
か出ていなくて、これが定量的だからという、定性的なものは隠
すのかというふうに勘ぐられることもあるかもしれないので、やっ
ぱりその辺のところは、私も初めてなので、できれば主な取組はざ
っと出していただいて、そこで取捨選択するのは、この委員会です
るのであれば、この委員会できちっとやったほうが多分いいのでは
ないかと思います。

三浦課長

ありがとうございます。

田中会長

そのほかございますでしょうか。

それでは、事務局のほうに1回お戻しして、今あったような意見
をざっとまとめていただいた案をメールで送っていただいて、それ
に対してこういうことがあるんじゃないかということをもたフィ
ードバックしていただいて、ある程度煮詰まって2月を迎えられれ
ばいいかなと思いますけれども。よろしいでしょうか。

三浦課長 事務局の都合で恐縮なんですけど、年内ぐらいをめどに御意見をいただけますでしょうか。なるべく早めにメールでお送りしますので。申し訳ありません。

田中会長 そういうことでお願いします。

三浦課長 ありがとうございました。

田中会長 では、議題の（３）に移りたいと思います。令和５年度スポーツ推進審議会のスケジュールについて、事務局のほうから説明をお願いします。

津田主任 資料３、令和５年度スポーツ推進審議会スケジュールについてを御覧ください。

前回は４月、本日が１１月１６日、次回は２月８日です。

今、課長からお知らせしましたとおり、本日見ていただいた調査票について年内に御意見いただきましたら、こちらを再度、会長と御相談しながら作成しまして、２月の会でまたお示しいたします。その２月の会で計画の進捗確認方法を確定させたいと思います。

また、皆様の任期が２月１３日までですが、新たな委員が決まったら３月にも開催することを検討しており、また追って日程調整する予定です。

田中会長 何か御質問等ありますでしょうか。任期が１３日ですか。

津田主任 任期は２月１３日までです。

田中会長 では、そのようなスケジュールでお願いしたいと思います。

（４）その他ということで、事務局のほうから何かありますでしょうか。

三浦課長 学校部活動の地域移行について、若干、情報提供だけさせていただければと思います。

学校部活動の地域移行につきましては、令和5年3月に東京都が策定いたしました学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画において、区市町村における取組が明記をされてございます。それによりますと、令和5年度中に各地区における方針等について検討するというふうになってございまして、これに伴って、小金井市におきましても、令和5年度中に学校部活動の地域連携等にどのように対応していくかというのを市民参加の手法で検討するための委員会を組織したいと考えてございます。関連予算を12月の市議会のほうに御提案申し上げるとともに、設置条例につきましても市議会のほうに御提案をしたいと考えてございます。

学校部活動、主には運動部の関係になろうかと思っておりますので、委員の皆様にお力添えいただくことがあろうかと思っております。その節はぜひよろしくお願いを申し上げます。

取りあえず12月議会に条例と予算が出ていきますという御報告までということで御了承いただければと思います。

以上でございます。

田中会長 そのほか、委員の皆様から何かありますでしょうか。

長谷川委員 今、情報共有いただいたようなものも本当に活動の一つだと思うので、結果が出る、出ないというのはあると思うんですけども、やった活動としては、頑張った活動として並べてもらったほうがいいのかなど。結果が出ないといろんな要因があると思っておりますので、活動に対して実施済みなのかとか、再検討なのかみたいな形で並んでいけば、活動がいっぱいあって、これだけ頑張ってくれたんだなというふうに見えるだけでも違うと思っております。

三浦課長 市民参加の検討委員会が設置できたと書けるように、12月議会、頑張ります。

長谷川委員 ありがとうございます。

服部委員 今のお話で、部活動移行の委員会のメンバーはどういった方を想定されているのでしょうか。

三浦課長 他市等々も視察に伺わせていただきまして、ちょっと遠くまで行ってきたんですけれども、やはり部活動ということですので、学校の教職員の方々にお願いするフェーズが多いです。そのほか、私どもがイメージしてございますのは、スポーツの関係団体の方々、それから、小金井市の場合、公募市民、公に募集する市民の割合が決まっておりますので、その方々も含めていくという形になりますと、今現在ですと16人ぐらいの委員会かなというふうには思っております。

服部委員 ありがとうございます。

三浦課長 ちょっと議案送付前なので、詳しいところはすいません。

田中会長 そのほか、何かございますでしょうか。
ないようでしたら、準備した議題は以上ですけれども、よろしいでしょうか。

では、本日は寒い中お集まりいただきましてありがとうございます。これで、第2回のスポーツ推進審議会を閉会いたします。どうもお疲れさまでした。

三浦課長 ありがとうございます。では、なるべく早く答申させていただきます。お願いします。

— 了 —